Ananthya、第三者割当増資で資金調達

沖縄の未利用資源から生まれたZen Leather®の大判化・量産化へ

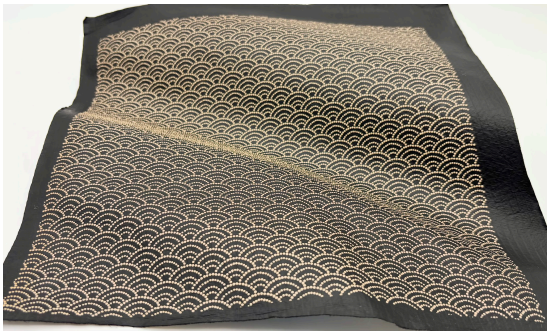
配信日：［2026年11月10日］

Ananthya株式会社（本社：沖縄県うるま市、代表取締役社長：福井康夫）は、シードエクステンションラウンドにおいて、当社代表取締役および個人投資家計7名を割当先とした第三者割当増資による資金調達を実施しました（調達額は非開示）。調達資金は、レザー代替素材「Zen Leather®（ゼンレザー）」の大判化・量産化に向けた製造工程の自動化と用途開発に充てます。

［メイン画像：Zen Leather®の素材と試作品］

沖縄の未利用資源を発酵でレザー代替素材に

Zen Leather®は、沖縄のサトウキビ産業で生じる余剰糖資源や未利用の茶葉を原料に、微生物の発酵によって生成されるバクテリアナノセルロース（BNC）を用いたレザー代替素材です。動物由来・石油由来の原料に依存しない素材として、うるま市で培養・加工技術を開発しています。現在、ファッション・小物分野での採用に向けて、風合い、強度、耐久性、加工性の評価を進めています。



印伝　Zen Leather®



藍染　カードケース



ナチュラル　カードケース

大判シートの製造と発酵工程の自動化へ

今回の資金調達により、より大きなサイズのシート製造に取り組みます。IoTによる培養環境の管理とロボット技術による工程の自動化で、品質の安定と生産性の向上を図ります。あわせて、ブランドや素材メーカーへのサンプル提供と試作を通じて、用途ごとに求められる仕様を明確にします。

研究連携と特許出願

当社は、沖縄科学技術大学院大学（OIST）のインキュベーター施設に研究拠点を構えて素材開発を進めてきました。現在はOIST Innovation Core内に活動拠点を置き、琉球大学農学部との共同研究や、産業技術総合研究所（産総研）の技術コンサルティングを活用した開発連携を進めています。
また、自社における独自の研究開発の成果として、2026年10月1日に発酵生産とバイオ素材の製造に関する特許を自社単独で出願しました（特願2026-218373、発明の名称「セルロース性物質の製造方法、糸の製造方法、および織物または編物の製造方法」）。
今後は、独自の関連技術の出願をさらに連携機関と進めるとともに、OISTの研究者とのさらなる共同研究の実現を目指してまいります。

うるま市を拠点に事業化と海外展開へ

うるま市を拠点に、地域の生産者、研究機関、ものづくり企業と連携し、研究開発から製造までを沖縄で担う体制を整えます。顧客評価と採算性を確認しながら供給体制を段階的に拡充し、海外展開を目指します。今後はプレシリーズAラウンドでの資金調達も計画しています。
また、経済産業省が設立した産官学連携の枠組み「サーキュラーパートナーズ（Circular Partners）」に参画しているほか、2026年10月7〜9日にパシフィコ横浜で開催された「BioJapan 2026」では内閣府スタートアップブースに出展しました。

ストックオプションの付与予定

量産化を担う人材の確保・定着と、企業価値向上の成果を役職員および社外協力者と共有することを目的に、計20名に対してストックオプション（新株予約権）を付与いたしました。

代表取締役社長 福井康夫 コメント

「本増資により、沖縄の気候風土と原料を生かしたバクテリア由来の新素材『Zen Leather®』の量産化と製品ラインナップの拡充を進め、早期の収益化を目指します。沖縄発の先進的なものづくりモデルを構築し、持続可能な社会への貢献と長期的な企業価値の向上を両立させてまいります。」

取締役ファウンダー 伊江玲美 コメント

「琉球大学農学部との共同研究や産総研の技術支援、地元企業の皆さまとの連携を通じて、沖縄の地域資源から新たな価値を生み出せることを誇りに思います。次世代を担う人材の育成にも力を注ぎ、支えてくださる皆さまへの感謝を胸に、次のステージに挑戦してまいります。」

会社概要

会社名	Ananthya株式会社
本社	沖縄県うるま市石川伊波1461
活動拠点	沖縄県国頭郡恩納村字谷茶1919-1 沖縄科学技術大学院大学（OIST）内 OIST Innovation Core2 202
代表者	代表取締役社長 福井 康夫
設立	2022年3月30日
事業内容	バクテリアナノセルロース素材「Zen Leather®」の研究開発・製造・販売
URL	https://www.ananthya.jp/

報道・事業提携に関するお問い合わせ：office@ananthya.jp